



授業づくりの視点

教師が単元で身に付けたい力を明確にした上で、児童自身が自分の学びを自覚できるように指導方法を工夫しましょう。

「書くこと」の領域では、「題材の設定」「情報の収集」「内容の検討」「構成の検討」「考えの形成」「記述」「推敲」「共有」といった学習過程における指導事項を確認した上で、それぞれの学習過程を明確にした授業づくりを行いましょう。

授業実践事例

1 単元の概要 まとまりに分けて、お話を書こう【第2学年】 B書くこと

教師が作成した文章のモデルを見聞きして意欲を高め、絵からイメージを膨らませて「はじめ」「中」「終わり」のつながりを意識して文章を書き、1年生に向けて読み聞かせをする単元である。

2 単元を通して育成を目指す資質・能力

知識及び技能

書いた文章を読み返して、誤字、脱字を直したり、句読点、助詞、かぎの使い方を正したりする。

思考力、判断力、表現力等

絵を基に書く内容を決め、構成を考えながら短い文章でメモする。語と語や文と文との続き方に注意して文章を書く。書いた文章を交流して読み合い、感想を伝え合う。

学びに向かう力、人間性等

絵から想像を広げて進んで文章に表そうとしたり、書いた文章を繰り返し友達に伝えようとする。

3 単元のデザイン 全11時間

本単元の流れ	児童の学びの姿
単元の見通しをもつ	◎ 絵からイメージを膨らませて、自分だけのオリジナル文章を作り、1年生に紹介するという単元全体のイメージをつかむ。 ・先生が作ったお話はとても楽しかった。自分も早く作ってみたい。 ・作ったお話を1年生に紹介するのが今から楽しみだ。 
「お話メモ」を基に文章を書く 本時	◎ 文章を書いていく中で、アドバイスが必要なときに友達と読み合う。 ・「中」と「終わり」のつながりをスムーズにするのが難しいな。友達に相談したら、文の順番についてアドバイスしてくれて嬉しかった。 ・書き方のポイントに沿って文の順番を工夫したら、感動的な文章になったぞ。
文章を読み直す	
1年生に読み聞かせをする	◎ 出来上がった文章を1年生に読み聞かせ、感想から自分が工夫した表現が伝わりやすかったことに気付く。 ・おもしろいと言ってくれたところは、自分が工夫して書いた登場人物の特徴が表れたところだった。書き方を工夫するとよく伝わるんだな。
単元のまとめをする	

○本単元における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

主体的な学び

- 単元の導入時に児童とともに作成した学習計画を授業の導入時に提示する。
- 板書を基に学習過程を振り返らせ、次時に学んでいきたい内容を児童とともに確認する。

対話的な学び

- 自分が表現したい内容を友達に伝えた上で、互いの文章を読み合う時間を取り、伝えたいことが伝わってきたかどうかの視点で交流させる。

深い学び

- 「はじめ」「中」「終わり」のつながりを確かめたり、モデル文から捉えた書き方のポイントに沿っているかについて読み直したりする場を設定する。

Point

見通しをもたせる
提示

学習計画等を活用して、本時の位置付けを児童とともに確認しましょう。その際、学ぶ目的を明確にして、見通しをもって学習に取り組みせるようにしましょう。

Point

意図的な話し合い
の場の設定

モデルを基に書き方のポイントを捉えさせた上で、そのポイントを意識して書く活動を行わせるようにしましょう。その際、児童同士の話し合いを通して、ポイントに気付かせるようにしましょう。

Point

学びの自覚を促す
個別支援

書き方のポイントに沿って表現できたかどうかを児童自身に自覚させた上で、教師が評価して位置付けましょう。その際、児童の学力の定着度を見極めることを大切にしましょう。

本時のねらい

文の続き方に注意しながら表現の仕方の工夫について考え、登場人物の特徴を捉えて文章を書くことができる。

本時の流れ

学習の見通しをもち、本時のめあてを確認する

めあて

読む人を引きつける「はじめ」の書き方について考えよう

モデル文からよりよい表現の仕方について考える

よりよい表現の仕方のポイントを意識して、メモを基に文章を書く

書いた文章を読み直す

学習内容をまとめる

まとめ

読む人を引きつけるためには、文の続き方に注意しながら登場人物の特徴が分かりやすい紹介をするとよい

振り返りをする

児童の学びの姿

◎前時までの学習を振り返り、教師が作成した例文を基に本時のめあてをつかむ。

- ・これまでの勉強では、お話のメモを書いてきたね。
- ・メモを使いながら、工夫して文章に表すことが大切だ。
- ・読む人を引き付けるポイントを見つけていきたいな。

◎モデルとなる文章の中から、工夫した表現の仕方について考える。

- ・登場人物の特徴を表すには、「住んでいるところ」「色」「動き」等いろいろなポイントがあるんだ。
- ・〇〇さんが「主人公を赤色にしたら強そうだよ」ってアドバイスしてくれてよかった。

◎メモを基にして、自分の伝えたい内容にぴったり合った言葉を用いて文章を書く。

- ・文の続き方によって、強調したい内容が変わるんだな。
- ・先生が文の順番についてアドバイスしてくれて、登場人物の体の大きさが伝わりやすくなったぞ。



◎本時の学習を振り返り、分かったこと、できるようになったことを確かめる。

- ・「はじめ」に書くべき内容がよく分かったぞ。
- ・登場人物の特徴がはっきりした文章が書けるようになった。

教師の手だて

主体的な学びの手だて

「学習の進め方」(学習計画)を提示し、本時は今までに考えたお話メモを基に、詳しく文章を書いていくことを確認する。

- 教師が作成した「はじめ」の文章を示し、メモをつなげただけでは、読み手を引き付ける文章にはならないことに気付かせ、めあてをつかむことができるようにする。

対話的な学びの手だて

既習内容の「スイミー」の「はじめ」の部分モデルとして例に挙げ、特徴をいくつか捉えられたところで、近くの友達と交流する場を設定する。

深い学びの手だて

登場人物の一番大切な特徴を明確にできるように、どの順番で特徴を書いたらいいかを個別に投げかけたり、書き方のポイントに沿った箇所に花丸を付けたりする。

- 板書を基に、「はじめ」の書き方について確認できたこと、その書き方を使って実際に「はじめ」の部分の文章が書けたことを想起させる。



授業づくりの視点

身に付けたい力を育成するために、価値ある言語表現に着目し、考え、表現できるよう言語活動を設定しましょう。

「読むこと」の領域では、「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成、共有」という学習過程における指導事項を確認した上で、単元のまとまりで授業を構想しましょう。

授業実践事例

1 単元の概要 「走れメロス」の魅力について、意見交流会をしよう【第2学年】 C読むこと

作品の魅力について、読み取ったことを知識や経験と結び付けて自分の考えをまとめ、その意見を交流することを通して、自分の考えを広げたり深めたりする単元である。

2 単元を通して育成を目指す資質・能力

知識及び技能

抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、発表したり文章表現したりすることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。

思考力、判断力、表現力等

複数の情報を整理しながら、登場人物の言動の意味などを考え、解釈した内容や考えたことを既習の知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。

学びに向かう力、人間性等

目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、自分で言葉を選び豊かに表現しようとする。

3 単元のデザイン

全8時間

本単元の流れ	生徒の学びの姿
単元の見通しをもつ 作品全体の内容をつかむ	◎意見交流会に向けて作品の魅力をもとめるといふ単元全体のイメージをつかむ。 ・自分の好きな名言や名場面を選び、みんなの感想が聞けておもしろそうだ。
名言や名場面の感想を交流して自分の考えを広げ深める 本時 作品の魅力について自分の考えをまとめる	◎作品の中の名言や名場面を選び、理由を付けて班で発表し、お互いに感想を交流する。 ・自分とは違う見方があり、自分の考えを広げる参考になった。 ・友達の選んだ名言とその理由等を聞くと、自分も共感できるところがあった。 ・友達の意見に感想を伝えることで、自分の考えが整理できた。
意見交流会をする 単元のまとめをする	◎単元を通して学んだ作品の魅力をもとめ、自分の知識や経験と結び付けてまとめ、学級で意見交流会をする。 ・友達の意見を聞き、新しい発見があって作品の魅力をもとめ、自分で再考できた。 ・作品の魅力をもとめ、既習の読み方や語句を使うことができた。

◎本単元における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を支える手だて

主体的な学び

- 「意見交流会」という言語活動を通して、「読むこと」の単元への見通しをもたせる。
- 学習計画表等を基に単元で学習することを確認させる。

対話的な学び

- 名言や名場面を選び、選んだ理由を付けて発表し、お互いに感想を交流させる。意見を比較したり、理由を述べたりすることで考えを深められるようにする。

深い学び

- 知識や経験と結び付けて、価値ある言語表現に着目し、考えさせることで、豊かな表現にする。
- 思考を深めるために語彙集を示して活用させ、語彙力を養う。

自分の授業に取り入れて
みましょう。

本時のねらい

「走れメロス」の名言を選んで発表し、感想交流を通して、自分の考えをまとめることができる。

本時の流れ

生徒の学びの姿

教師の手だて

学習の見通し
をもち、本時
のめあてを確認するめあて
名言について
発表し、感想
を交流しよう班で自分の考
えを発表する友達の発表に
対して感想を
伝え合う学習内容をま
とめるまとめ
名言に着目し
て発表し、感
想を交流する
ことで、自分
の見方や考え
方が深まる振り返りをす
る◎学習計画表で前時を振り返り、
教師が例示した名言の発表の
仕方を見て、本時のめあてを
捉える。

- ・班発表を通して、自分の考えをまとめていくんだな。
- ・自分が発表するだけでなく友達の発表へ感想を伝えることが必要なんだな。

◎4人班になり、自分で選んだ
名言ベスト3を理由も付けて
発表する。

- ・自分と違う王様の言葉を選んでいておもしろいな。
- ・メロスの言葉は読み手を引き付ける力があるな。

◎発表のよかった点やその理由、
新しく気付いたこと等、お互
いに友達の意見について感想
を交流する。

- ・友達が選んだ「私も殴れ」の言葉とその理由を聞き、2人の友情の深さに気が付いた。
- ・先生のアドバイスで、メロスの言葉の意味が新たに読み取られて、考えがまとまった。

◎本時の学習を振り返り、次回
の学習への見通しをもつ。

- ・友達に自分の感想を伝えることで自分の考えが整理できた。次は名場面を学習するんだな。

主体的な学
びの手だて学習計画表と名言
発表の型を例示す
ることで、本時の見通しとめ
あてをつかませる。

- 授業内容と家庭学習をつなぐために、宿題で発表用原稿を推敲させる。教師は机間指導の中で内容を確認して、できている内容に丸を付けたり、具体的にほめたりする。

対話的な学
びの手だて他者の見方や考え
方を知り、自分の
考えと比較できるように4人
班で伝え合う場を設定する。
発表の際には、選んだ理由も
付けて発表させる。深い学びの
手だて選んだ名言と解釈
が適切かどうかを
評価したり、語彙集を使用し
て、よりの確な表現はできな
いかを考えさせたりする。そ
の際、人物設定や場面展開等、
優れた表現に着目して、考え
るように助言する。見本とな
る表現は称賛して、全体へ紹
介する。

- 名言を選び、理由を付けて発表して感想を交流できたか、作品に対してどのような考えがもてたか等について、学びの振り返りをさせる。

Point

見通しをもたせ
めあてを確認単元の流れを示した
学習計画表等を基に、
本時の位置付けを確認
しましょう。その際、
身に付ける力を意識
して、何について学
習するのか等、見通
しがもてるようにし
ましょう。

Point

目的や意義を明確
にした話し合い生徒が考えを友達と
比較し自分の考えを
もつために、違いや
理由等を伝え合う機
会を設定しましょう。
目的や意義を明確に
し、教師がペアや班
等の適切な形態を設
定しましょう。

Point

「言葉」に着目
させる支援教師が個別に学びを
見取り、丸を付けたり、
助言したりして、学
びを価値付けましょ
う。その際、「言葉」
に着目して、理解さ
せたり、表現させたり
することを大切にしま
しょう。